

学校経営ビジョン「育てたい資質・能力」の具体的な育った姿

～令和5年度 学校評価アンケートより（12月）～

よく考える子ども	
知識及び技能	・高学年児童の自覚と自信が育ち、身に付けた技能を発揮する場面が多く見られた。 ・低学年は、保育所とのかけっこ対決や発表会の交流などを通して、上学年として身に付けた技能を発揮する目的と場を設定したことにより、昨年参加できなかった児童も三島小まつりでの発表ができた。 ・ICTを活用して、やったことを写真に撮って書き込んで記録するなど、授業で教えたことを他の学習でも生かそうとしていた。
	・疑問に思ったことを積極的にインターネットを利用して調べている姿が見られる。 ・特別講師の理科の実験がとても楽しいようだ。 ・以前より、『夕飯時に手伝いをしてみたい』と声をかけるようになってくれた。 ・家でもお手伝いしたいと積極的に言うようになった。 ・授業で教わった「詩を書くこと」が心に残っているようで、担任の先生も、好きなことの感性を積極的に育てようとしてくださっている様子が日常での会話で伝わってくる。
思考力・判断力・表現力	・福島ゼロカーボン表彰式出席や三島小まつりなどを通して、自己表現が苦手だった児童が積極的に行動できるようになった。 ・中学年児童は、担任の影響もあってICT活用が進み、対話的機能を生かした学び合いが充実している。 ・生活科やふるさと学習で三島町について見つめ直し、そのよさを三島小まつりで発信することができた。発信の仕方として、パソコンで作成したスライドや動画など発信方法も学べていると感じる。 ・職員室に必要な物を受け取りに来る子どもたちが、伝えたい内容を自分なりにまとめて話す姿があった。 ・三島町PR動画の制作や醸芳小学校とのオンライン交流、三島町次世代の議会への参加などの様々な場面で、三島町のよさや課題について考え、魅力を発信したり、課題の解決策を考えて提案したりしてきたことで、三島町の現状を見つめ直すとともに、未来の三島町について自分事として考えることができた。 ・友達の考えと自分の考えなどを比べて聞き、相違点や共通点について説明したり、友達の考えに補足したりすることができた。 ・スクールタクトやクラスルームを使って、考えを伝え合うことができた。 ・ふるさと学習を通して、三島町にあるすばらしい伝統や地域遺産、特産品について学ぶことができていと思う。また、毎月の学校だよりの特集で、三島町について考える機会を作っていたいただいているおかげで、子どもたちが、日頃から、三島町の未来について考えていく姿が見られた。
	・地域の伝統行事や人達との関わりにより、三島町の歴史に興味をもち始めている。 ・地域に出かけ、地域住民から学ぶ姿は、自分の生まれ育った地域に誇りをもつ心が育まれる

	と確信している。 ・三島町の伝統行事に実際に参加することで、その行事の歴史や意味をよく理解するようになった。 ・地域の方を先生に招いた学習の機会は、ふるさとに誇りや大切に思う気持ちを育てる素晴らしい機会だと思う。 ・三島小まつりでの町のPRなど、町の事を考える機会が増えていることはとても良い。 ・総合的な学習を通して三島町の文化に触れ、よいところを吸収していると思う。町行事にも積極的に参加する事で地域との繋がりも増えて素晴らしい。桐の学習や、田んぼ(稲刈り)、おばあちゃんの味など良いと思う。 ・ふるさと学習で学んだことを、家庭でもよく話してくれる。
学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性	・算数科や理科の学習で、まとめを自分の言葉で書く活動を多く取り入れた。 ・気になることは、自分で調べるようになった。 ・自学をやる中で、興味のある事柄について調べてノートにまとめている。自ら積極的に調べている様子を見て、今、自分は何がやりたいのか、何に興味をもっているのか等、自分の好きを知る機会となっている。 ・実験系の書籍などから、自らやりたい実験を探して材料集めや協力依頼をしながら、前向きに取り組んでいる。

思いやりのある子ども	
知 識 及 び 技 能	・代表委員会の活動により、全校を上げてあいさつに重点的に取り組むことができた。児童会活動として、子ども主体で動いているのがとてもよいと思う。 ・あいさつにおいての格付けチェックを作成することで、校内では自らあいさつする児童が増えてきた。 ・低学年から大人と話をする時に敬語を使用することができ、時と場合にあった言動が身に付いている部分がある。 ・2年生が下校する際、一言を添えたあいさつができ、爽やかな雰囲気になってきている。 ・相手に対し、感謝の気持ちをこめて「ありがとう」と言うことができてきた。 ・自分からあいさつできたり、一言つけたりして言う児童が増えた。 ・友達が困っているときに、声を掛けたり、教えたり、助けたりすることができた。(水をこぼしたときや学習でつまづいているとき等) ・あいさつ運動の取り組みで、三島小では、職員室や校長室にあいさつするのが当たり前という姿が見られる。特に1年生は、相手の目を見てきちんとあいさつすることができていて、上級生の姿を真似している。
	・大きな声であいさつするようになった。

	・学年が進むにつれ、恥ずかしさを覚えたことから、あいさつが疎かになることはあるが、促せばできることから、概ね評価できる。 ・周りの状況を判断しながら行動ができているが、多少行き過ぎる面は見られる。 ・友達が困ったときに声を掛けてあげられるようになった。 ・学校内で落とし物を拾って、持ち主を探し出して届けてあげたそう。名前が書いてなかったが聞いてまわったとのことだった。 ・まずは元気に自分からあいさつできる子どもになってほしいと思う。 ・朝の登校時にもう少し元気よくあいさつできればいいと思う。これからも元気に明るく！のご指導よろしく願いしたい。 ・悪口を言うことがなく、他者を素直に見ていると感じている。以前より場面ごとに振る舞い方を考えるようになったと感じる。 ・相手の気持ちを考え、言動しているように感じる。 ・買った物を持ってくれるようになった。 ・うちの子も、昨年よりも進んで挨拶できる場面が増えてきた。
思考力・判断力・表現力	・全校遠足や愛校ボランティア、豊飢先生の書写指導など縦割り班活動が充実し、異学年交流が進んだ。学校全体の子どもたちの関係性が親和的でとてもよい。1年生が6年生を頼りにしている。 ・運動会の全体練習や朝の運動など、6年生が自分の役割を考え、全学年の先頭に立って行動できた。 ・愛校ボランティアや全校遠足などを企画・運営していく中で、高学年としての意識を高めることができた。 ・係活動では、クラスみんなのためになる新聞記事の紹介、みんなで楽しめるイベントの企画運営、みんなが気持ちよく過ごすための毎日の仕事などを行っていた。 ・縦割り活動がたくさんあり、上級生が下級生をリードする姿がたくさん見られ、上学年の子どもたちの自己肯定感の育成にも大きく関わっている。
	・学年をこえ、縦割り学習では、下級生を思いやり、上級生から学ぶ姿勢が養われたと感じた。 ・よいことにも、少し気になることにも、自分の意見をもつことができているようだ。更に行動に移すことができるよう、家庭でも話をしている。
学びに向かう力・人間性	・2年生において、学級目標（「やさしくしよう」「なかよくしよう」「気もちをはなそう」「たのしくあそぼう」「やってみよう」）を掲示し、毎日確認することで、お互いが注意したり、許し合ったりすることができる。 ・三島小まつりでは、「見ている人を楽しませたい」という思いをもって、一人一人の持ち味を生かしたシナリオをみんなで創り上げ、発表することができた。 ・相手を傷つけるような言動が減った。3年生と4年生が仲良くなった。 ・性格は人それぞれである。相手の短所や素敵な長所等を見て、少人数であっても思いやりのある声かけや行動をすることが大事だと思っているように感じる。よい所も直した方がいい所もすべて含めて、それがその子なんだと当たり前のように考えていることが素晴らしいと思う。

性	・ 少人数を生かした、学年の隔たりのない活動がとても良い。 ・ 自宅での会話の中から、友達と仲良く過ごしている様子がよく分かる。 ・ 「〇〇くん、ありがとう。」「〇〇ちゃん、ごめんね。」と、子どもたちに素直に伝えてくれる先生が多いイメージがある。
---	---

たくましい子ども	
知識及び技能	・ 体育部の朝の体力づくりや、休み時間や放課後の校長先生のスポーツ教室で体力を向上させている。 ・ 朝の運動において、様々な動きを経験しながら、一つの競技（鉄棒やなわとび）を工夫しながら取り組むことで、体力が向上している。 ・ 毎朝のマラソンは、体力作りになっている。 ・ 積極的にスポ少（陸上）に参加しタイムを伸ばしたり、ドッジボールで人に当てる回数が増えたり、体力面の自信に繋がっているようだ。 ・ バス通学でもあるし、町内に子どもたちが集まって身体を動かせる場所が少ないので、学校内で身体を動かせる機会をたくさん作ってもらえたら嬉しい。 ・ 朝の運動は体力作りや朝の授業へ臨むのにとっても良いと思う。 ・ 朝の運動は素晴らしいと思う。ぜひ続けて頂きたい。 ・ 休み時間のドッジボールや鬼ごっこ、スポ少等に積極的に取り組んでいるようだ。 ・ 朝の運動で体力がついてきたと思う。みんなよく走っているので校内マラソン大会があってもよいと思う。 ・ 姉や兄に『これできる？』などと家でやってみせて、柔軟など少し気にかけてやっている。 ・ バス降車後、学校まで歩く距離が短すぎて、他校の生徒と比べても体力がないので、登下校の徒歩距離を伸ばしてほしい。
思考力・判断力・表現力	・ 養護教諭や栄養教諭による授業や、養護教諭による個に応じた保健指導など、日常的な健康なからだづくりが推進されている。 ・ くるりんベルトなどを使って、休み時間も鉄棒練習している児童がいた。 ・ 苦手な給食のメニューに向き合い、量を調節して食べることができた。 ・ 朝から運動することで、不登校や体調不良を訴える子が少ない。保健指導がしっかりと学校生活を支えている。 ・ 「健康生活チェックカード」で、生活習慣や清潔習慣について「できた」に○が付く児童が増えた。 ・ 「メディアコントロールカレンダー」を利用して、メディアの使い方について考えることができた。 ・ 健康に関する個別指導を通して、外に出て運動する等、自分の生活を改善しようとする姿が見られた。 ・ 健康に関する掲示物を見て、健康について考えようとする姿が見られた。 ・ 委員会活動を通して、野菜について興味を示す児童の姿が見られた。

	・陸上の練習を頑張っており、フォームが良くなった。 ・好き嫌いが多かったのですが、給食を完食することが増え、家庭でも野菜を食べるようになった。
学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性	・三町村の水泳、陸上大会へ向けた自分の目標への挑戦を通して、高学年はたくましく成長した。 ・先生方の行事における目標設定と振り返りの指導が充実していることで、子どもたちが目的意識をもって行事に取り組むことができている。 ・三町村の水泳、陸上記録に5、6年生が一生懸命に練習を積み重ねてチャレンジすることで、その姿を中・下学年に見せることができた。 ・三町村陸上記録会に向けて、暑期中、継続して練習に取り組むことができた。目標をもって記録会に挑めたこと、励まし合ってチーム力を高められたこと、返事やあいさつ等礼儀正しく振る舞えたこと等、たくさんの事を学ぶことができた。 ・一歩も乗れなかった竹馬の練習をがんばり、歩けるようになった。 ・鶴ヶ城マラソンでは、最後まで諦めずに走ることができた。今までだったら、途中で諦めて歩いてしまっていたので、粘り強さが身に付いてきたようだ。 ・校外では、マラソン大会に参加して最後まで走りきる事ができた。スポ小の剣道では初めての試合で相手に立ち向かう事ができた。 ・体の成長と運動の面が連動しきれていないが、1年生から継続しているスポ少には積極的に参加しており、自信につながっているようだ。 ・三町村の水泳大会や陸上大会、毎日の朝の運動など体を動かしてもらえてありがたいと思う。気持ちがモヤモヤしていても体を動かしておいしい給食を食べたら、心身共に健康になれると思う。これからも目標をもって挑戦してもらいたい。 ・諦めずに頑張れている。 ・得意な事も苦手な事も頑張ってチャレンジできていると思う。 ・運動に関する目標設定と実際の生活が合っておらず、体を鍛える意識が足りていないと感じている。宿題も、体力作り、体づくりの課題を出して欲しい。 ・特に陸上のスポ少は、成績はともあれ、1年生の時から継続して通っている。 ・精神的にも、少しずつではあるが、成長が感じられている。 ・人それぞれ向き不向きがあり、怖がりな子だっているとおかしくはないと思う。人数が少ないから目立つだけで、人数多いところだったら、あまり気にならないと思う。